

子どもの健全育成と、SDGsの目標のうち『貧困をなくそう』『すべての人に健康と福祉を』『質の高い教育をみんなに』の実現に資する活動への支援

「ママと子どもたちの安心安全なステップハウスを確保する」事業

DVから逃げることができ、次のステップに向かうための一時的な避難場所を確保

夫やパートナーのDVから逃げるときに準備万端整えて家を出るといことはほぼなく、預貯金もないうえ、身の安全を保つために親族や友人・知人との関係を断ち切って出ていかざるを得ないケースも多い。そのような母親や子どもたちが一時的に安心して暮らすことができ、次のステップに踏み出すための場所を提供する事業に取り組んだ。

DVから逃げる先と、その後の暮らしを見通すためのステップハウスを提供

大阪市北区を拠点に活動する「シンママ大阪応援団」は、2015年に大阪社会保障推進協議会（大阪社保協）が立ち上げた団体で、2018年には一般社団法人として独立した。シングルマザーと子どもたちの自立した生活と心のサポートを目的に、日常生活・法的対応・雇用創出や就労・居住などの支援のほか、当事者や支援者のための教育・啓発、シングルマザー等の問題に関する広報・情報発信や政策提言などを行っている。2020年の新型コロナ禍以降、食料支援を求めるSOSが殺到し、事業費のほとんどを食料品などを詰めたスペシャルボックスの発送（2025年1月時点で約200世帯以上）に使用している。このような状況の中で、団体に「夫やパートナーから

DVを受けていて逃げたいのだが、お金も逃げる場所もなく、逃げた後の展望も見えないので、逃げることができない」など、DVに関する相談が多く寄せられていた。そこで、POSCと大阪府遊技業協同組合からの助成を活用し、独立したスペースに1人もしくは1世帯のみで、家賃や水道光熱費などを心配することなく入居でき、次のステップに向かうための“逃げ場所”となる「ステップハウス」を確保・運営する事業をスタートさせた。

2024年5月に実際の入居が始まったステップハウスは2DKのマンションで、冷蔵庫や洗濯機などの電化製品や日用品も完備し、スペシャルボックスによる食料支援や団体のネットワークからの支援なども受けられる。事業開始から2025年3月時点で、すでに3件の入居者を受け入れている。



冷蔵庫や洗濯機などの電化製品も完備したステップハウス



すぐ入居できるように食料支援含め手厚いサポートを実施

助成団体:一般社団法人 シンママ大阪応援団

<https://shinmama-osaka.com>



DVから逃げるできない方が、逃げ出すことができました

ステップハウス入居の次の日には地元の天満警察署に相談に行くことにより、それによりその後のパトロールや警備などにも手厚いご支援をいただいています。今回の助成金がなければ、このステップハウス事業を立ち上げることができませんでした。

一般社団法人 シンママ大阪応援団
代表理事 寺内 順子さん

子どもの健全育成と、SDGsの目標のうち『貧困をなくそう』『すべての人に健康と福祉を』『質の高い教育をみんなに』の実現に資する活動への支援

「KOTOMO基金 啓発シンポジウム」事業

困難を抱えた子どもや家族に対するNPOの支援や活動をシンポジウムで伝える

生活困窮やDVなど困難な状況にある子どもや家庭を支えるNPOなどの市民活動を支援するために新型コロナ禍に立ち上げられた「KOTOMO基金」。基金によるサポート活動は現在も増加中で、さらなる社会的認知が必要である。そこで同基金を管理・運営する「岡山NPOセンター」は、支援団体や市民参加型のシンポジウムを開催し、報告書の作成を行った。

社会から見えづらい子どもや親子の窮状をシンポジウムや報告書を通じて発信

「岡山NPOセンター」は、NPOをはじめとした多様な主体と連携して、地域の課題解決と価値創造に向けて現実の一步先を行く取り組みと仕組みづくりを通じて、持続可能で豊かな市民社会を実現することを目指して様々な活動を行っている。なかでも子どもの困難・貧困解消のために新型コロナ禍の2021年に山陽新聞社、山陽新聞社会事業団とともに立ち上げた「KOTOMO基金」は、市民や企業などからいただいた寄付を岡山県内で活動するNPOに配分することで、困難を抱える子どもや家族を支援する取り組みである。

新型コロナは5類に移行したものの、現在も物価高騰などの影響により、子どもたちを取り巻く環境には依然として

厳しいものがあり、基金によるサポート活動も増えている。そこで同センターでは、子どもや親子を取り巻く課題について広く知ってもらい、市民参加のもとで支える機運を醸成するための情報発信を目的として、KOTOMO基金3年記念シンポジウム「親子で考える子どもの権利と地域で支え合う子育て」を2024年8月28日に開催した。シンポジウムは基調講演、パネルディスカッション、基金活用団体による活動報告の3部構成で行った。

シンポジウム当日は台風の影響で全面オンラインによるライブ配信に切り替えられたものの、多くの方々に視聴していただくことができ、具体的な支援の様子や成果がわかりやすかったといった感想が多数寄せられた。また、併せて活動成果などをまとめた報告書も作成し、県内企業、団体、寄付者などに配布した。



KOTOMO基金3年記念シンポジウム「親子で考える子どもの権利と地域で支え合う子育て」を開催



助成団体:特定非営利活動法人 岡山NPOセンター

<https://www.npokayama.org>



一人でも多くの方に子どもや親子を取り巻く社会状況を知っていただきたい

多様な関係者によるシンポジウムや助成期間終了後も活用できる報告書制作ができたことは、本取り組みの大切な財産となっています。また関係団体のみならずにもKOTOMO基金の取り組みを知っていただく機会になったことも大変有意義でした。

特定非営利活動法人 岡山NPOセンター
代表理事 高平 亮さん